

参考資料

- ①令和5年度狛江市市民意識調査
- ②狛江市のまちづくりに関するアンケート
(小・中学生アンケート)
- ③狛江高校まちづくりに関するアンケート
- ④狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ
- ⑤狛江市地域福祉計画等の策定等に係る市民意識調査結果
報告書(抜粋)

【令和5年度狛江市市民意識調査】

○調査概要

1 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「後期基本計画」を策定する上で、市民の狛江市に対する思いやこれからのまちづくりに期待すること等を把握し、検討の基礎資料とするため、市民意識調査を実施した。

2 調査設計

- (1) 調査対象…満18歳以上の市民（令和5年7月1日時点）
- (2) 調査票数…2,500人
- (3) 抽出方法…狛江市住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法…郵送配布・郵送又はWeb回答
- (5) 調査期間…令和5年7月31日～8月22日（23日間）

3 調査項目

- (1) 回答者属性（問1～問6）
- (2) 狛江市について（問7-1～問8-3）
- (3) 狛江市総合基本計画施策について（問9～問15）
- (4) 市政に関する意見・要望等（問16）

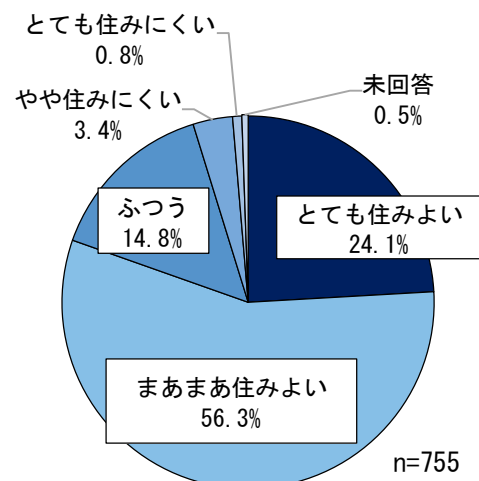
4 回収結果

755通（回収率30.2%）

○調査結果

問 狛江市は住みよいと思いますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

	票数	構成比
とても住みよい	182	24.1%
まあまあ住みよい	425	56.3%
ふつう	112	14.8%
やや住みにくい	26	3.4%
とても住みにくい	6	0.8%
未回答	4	0.5%
合計	755	



問 狛江市が住みよい理由は何ですか。(とても住みよい、まあまあ住みよいと答え
た方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	水と緑が豊かなまちだから	305	19.8%
2位	安心・安全に過ごせるまちだから	249	16.2%
3位	コンパクトさを活かしているまちだから	211	13.7%
4位	交通環境が良いまちだから	172	11.2%
5位	ごみの少ない、きれいなまちだから	88	5.7%
6位	子育てしやすいまちだから	59	3.8%
7位	健康に暮らせるまちだから	54	3.5%
8位	農業が盛んなまちだから	52	3.4%
9位	みんながやさしいまちだから	50	3.2%
10位	道路・排水が整備されているまちだから	47	3.1%
11位	お店が充実しているまちだから	44	2.9%
12位	地域のつながりが強いまちだから	39	2.5%
13位	にぎわいのあるまち(イベントなど)だから	32	2.1%
14位	美しい景観・まち並みのあるまちだから	31	2.0%
15位	その他	24	1.6%
16位	未回答	18	1.2%
17位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みやすいまちだから	16	1.0%
18位	歴史・文化財を大切にするまちだから	15	1.0%
19位	市民活動が盛んなまちだから	14	0.9%
20位	文化が育まれているまちだから	6	0.4%
21位	若者が多く活気のあるまちだから	5	0.3%
22位	スポーツが盛んなまちだから	4	0.3%
22位	教育環境が充実しているまちだから	3	0.2%
24位	生涯に渡り学び続けられるまちだから	1	0.1%
合 計		1,539	

問 狛江市が住みにくい理由は何ですか。(やや住みにくい、とても住みにくいと答えた方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	お店が充実していないまちだから	19	21.6%
2位	道路・排水が整備されていないまちだから	9	10.2%
2位	その他	9	10.2%
4位	コンパクトさを活かしていないまちだから	6	6.8%
4位	交通環境が悪いまちだから	6	6.8%
6位	安心・安全に過ごせないまちだから	5	5.7%
6位	教育環境が充実していないまちだから	5	5.7%
8位	やさしさが足りないまちだから	4	4.5%
8位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みづらいまちだから	4	4.5%
8位	美しい景観・まち並みのないまちだから	4	4.5%
11位	子育てしづらいまちだから	3	3.4%
12位	水と緑が豊かではないまちだから	2	2.3%
12位	地域のつながりが弱いまちだから	2	2.3%
12位	にぎわいのないまち(イベントなど)だから	2	2.3%
12位	健康に暮らしづらいまちだから	2	2.3%
12位	ごみがありきれいではないまちだから	2	2.3%
17位	文化が育まれてないまちだから	1	1.1%
17位	若者が少なく活気のないまちだから	1	1.1%
17位	市民活動が盛んではないまちだから	1	1.1%
17位	未回答	1	1.1%
21位	農業が盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	歴史・文化財に触れにくいまちだから	0	0.0%
21位	スポーツが盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	生涯に渡り学び続けづらいまちだから	0	0.0%
合 計		88	

問 狛江市総合基本計画施策についてお聞きします。

それぞれの施策について施策が進んでいる（評価できる）と思うか、この施策を優先して（継続して）進めるべきだと思うかについて選択肢の中から1つずつ選んでご回答ください。

(1) 施策が進んでいる（評価できる） と 思いますか	とても そう思う	ややそう 思う	どちら でもない	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
5 いつまでも健やかに暮らせるまち					
①地域共生社会づくりの推進	51	200	395	73	11
②健康づくりの推進	53	231	359	73	13
③高齢者への支援	51	226	358	77	20
④障がい者への支援	47	209	386	65	20
⑤生活困窮者への支援	37	179	413	75	22

(2) この施策を優先して（継続して）進め るべきだと思いますか	とてもそう 思う	ややそう思 う	どちら でもない	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない
5 いつまでも健やかに暮らせるまち					
①地域共生社会づくりの推進	207	288	192	26	10
②健康づくりの推進	243	278	170	19	12
③高齢者への支援	263	271	146	32	15
④障がい者への支援	289	255	144	22	15
⑤生活困窮者への支援	244	265	171	28	18

問 次期基本計画又は市政に関してご意見、ご要望などございましたら、ご記入ください。（抜粋）

- ・貧困家庭、生活困窮者、老人対策について、丁寧な対策をしてほしい
- ・高齢者のための施政という印象があります。民主主義の制度上仕方がないですが、なんとならないかと思っています。分断？
- ・後期高齢者です。都の難病認可を受けています。市政との関わりは病気治療に片寄っています。
- ・健康促進の為の予算を拡大して欲しい。
- ・難しい事だと思いますが、どの地域を見ても50代60代の関わりが難しく、ほんの一部が勇気を持って関わられる感じになってませんか、高齢の一手手前での年齢層が活発になればもっと介護を受ける年齢も高くなり介護を受ける人が少なくなると思います。

【狛江市のまちづくりに関するアンケート（小・中学生アンケート）】

○調査概要

（1）調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、小・中学生が狛江にこれからどんなまちになってほしいと思うか等を把握し、検討の基礎資料とするため、小・中学生アンケートを実施した。

（2）調査設計

①小学生アンケート

- ・調査対象…市内小学校5年生
- ・児童数……605人
- ・調査期間…令和5年7月7日～20日

②中学生アンケート

- ・調査対象…市内中学校2年生
- ・生徒数……478人
- ・調査期間…令和5年7月7日～20日

（3）調査項目

①小学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

②中学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・大人になっても「狛江」に住み続けたいか（中学生のみ）
- ・その理由
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

（4）回答結果

- ①小学生アンケート 432件（回答率71.4%）
- ②中学生アンケート 376件（回答率78.7%）

小学生

問 狛江にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		回答数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境(かんきょう)にやさしいまち	213	17.3%	2位
2位	犯罪(はんざい)や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	210	17.0%	1位
3位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲(なか)が良いまち	162	13.1%	6位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	153	12.4%	4位
5位	地震や台風などの災害(さいがい)に強い安全なまち	110	8.9%	5位
6位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	92	7.5%	3位
7位	お年寄りや障(しょう)がいのある人がいきいきと過ごせるまち	86	7.0%	8位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	79	6.4%	7位
9位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	47	3.8%	9位
10位	狛江産の野菜や果物(くだもの)などがたくさん食べられるまち	26	2.1%	10位
11位	商店街などのお店が多くて活気(かっき)があるまち	23	1.9%	11位
12位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	20	1.6%	12位
13位	そのほか	11	0.9%	13位

問 えらんだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。(抜粋)

【7 お年寄りや障がい(しょうがい)のある人がいきいきと過ごせるまち】

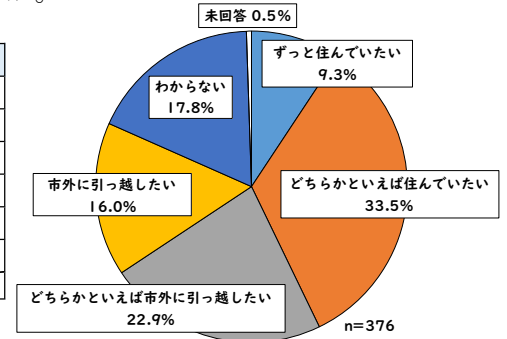
- ・障がいの人やお年寄りの人が過ごしやすいよう歩きやすいようにしてほしい。
- ・お年寄りや障がいがある人との関わりを作る時間をつくる。
- ・どんな人(障がい者)にとっても平等で安心できるまち
- ・気軽に入れるようにエレベーターや道の整備などが良いと思う。
- ・助け合いで「何か困って入りことはありませんか」など自分から声がけをする。
- ・もっとスロープの場所を増やせば良いと思います。
- ・障がいがある人などには積極的に声をかけて優しくする
- ・障がい者に優しい点字やお年寄りに優しくする老人ホームを増やしたりしたらいい

- ・全員が、お年寄りの人や、障害のある人に声かけをしたり、ポスターを作って不自由なく過ごすことができ、生まれて後悔しないようなまちづくりをしたいと私は、思います。
- ・無料の、お年寄りの方や、障がいのある人たちが、気軽に行ける場所があると、いい。
- ・あったらお年寄りと一緒に行ける所まで行く。・展示ブロックや展示をたくさん置く
- ・高齢者などの人が困っていたら親切にしてあげる
- ・身体が不自由な人も楽しめるスペースを作る お年寄り同士が休憩できたり話し合えるスペースを作る
- ・周りの人が、困っていたらすぐに助けてあげて、障害者向けのものを増やす
- ・バスにスロープをつける。
- ・体が不自由な人のためにも登れなくて困っている人などを手伝ってあげる。
- ・まず世の中にはいろんな障がいがある人たちがいるんだよという存在を知ってもらう。
- ・今の生活で困っていることをお年寄りや障がいがある人にアンケートで聞いてみる
- ・助け合いのできる優しいだれでも仲良くできるような交流
- ・老人ホームなどなどをたくさん建てたり町にスロープを増やしたりしたい。
- ・エレベーターの隙間を小さくする
- ・もっと点字ブロックを置いたり、音響用押ボタンを置いたりする
- ・障がいがある人でも楽しく過ごせる様に障がいがある人でも使える場所や物などを作る。例えば障がいがある人でも使える公園みたいな場所を作ったりするといいと思う。
- ・みんなが楽しく暮らせる自然あふれる街づくり
- ・お年寄りなどを助けたら1ポイントなどにして5年後などにそのルールをなくしたらお年寄りなどを助ける事を習慣になってみんなが生き生きと過ごせるようになる。
- ・私のおばあちゃんが腰が痛くて歩けないから電車の中では年寄り席を譲ったり、年寄り席にあまり座らないようにする
- ・身近な場所を中心にしてバリアフリーを増やして、障がい者や小さな子供がいるお母さんなどが困ったら身近な人が助けたらいいと思う。
- ・ユニバーサルデザインを増やす・点字や、バリアフリーなどをいっぱい作る
- ・障がいの人だからといって責めないで一人一人が最高の街だと思ってほしい街
- ・スロープや、点字、音声機などを町に設置する。
- ・狛江市内は障がい者が通りにくいところもあるので、しっかり段差をなくしたりスロープをつけたり、怪我がないようにしたい。
- ・音響用押しボタンを増やす。
- ・老人ホームを作ったり、お年寄りのみんなでお楽しみ会をやる(内容はなんでも良い)協力する。
- ・市民がお年寄りや障がい者に悪いイメージを持たず、一人の人として見られるようなお話し会などをする
- ・障がい者向けのイベントの取り組みなど進める

中学生

問 大人になっても「狛江」に住み続けたいと思いますか。

	票数	構成比
ずっと住んでいたい	35	9.3%
どちらかといえば住んでいたい	126	33.5%
どちらかといえば市外に引っ越したい	86	22.9%
市外に引っ越したい	60	16.0%
わからない	67	17.8%
未回答	2	0.5%
合計	376	



問 住んでいたい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
住みなれていて愛着がある	114	37.4%
家族と暮らし続けたい	45	14.8%
自然環境がよい	54	17.7%
交通の便がよい	28	9.2%
買い物の便がよい	17	5.6%
図書館や体育館などの施設が充実している	10	3.3%
レジャー・娯楽施設が充実している	0	0.0%
子育てしやすそう	15	4.9%
今後発展しそう	4	1.3%
防犯・防災など安心して住める	14	4.6%
その他	4	1.3%
合計	305	

問 引っ越したい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
ほかのまちに住んでみたい	89	34.4%
実家から離れてみたい	34	13.1%
自然環境がよくない	7	2.7%
交通の便がよくない	8	3.1%
買い物の便がよくない	27	10.4%
図書館や体育館などの施設が充実していない	12	4.6%
レジャー・娯楽施設が充実していない	38	14.7%
子育てしづらそう	4	1.5%
今後発展しなそう	27	10.4%
防犯・防災など安心して住めない	2	0.8%
その他	11	4.2%
合計	259	

問 「狛江」にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		票数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境にやさしいまち	149	15.9%	2位
2位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲が良いまち	141	15.1%	9位
3位	犯罪や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	141	15.1%	3位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	105	11.2%	6位
5位	地震や台風などの災害に強い安全なまち	98	10.5%	7位
6位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	74	7.9%	8位
7位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	69	7.4%	1位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	45	4.8%	4位
9位	商店街などのお店が多くて活気があるまち	41	4.4%	5位
10位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	24	2.6%	10位
11位	その他	20	2.1%	12位
12位	狛江産の野菜や果物などがたくさん食べられるまち	17	1.8%	11位
13位	高齢者や障がいのある人がいきいきとすごせるまち	11	1.2%	13位

問 選んだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。

【7 お年寄りや障がいのある人がいきいきと過ごせるまち】

- ・道にゴミとかが落ちていと危ないから、ポイ捨てしない。
- ・困ってる人がいて、自分にできそうなことがあったらその人に声をかけて助ける
- ・障がいについての意識を深め、助け合う
- ・階段のところゆゆるやかな坂を作って車いすの方が上がれるようにする
- ・少しでも障がいなどに関心を持つ人が増えるようにする為に講演会などを開いたりする。
- ・高齢者だからではなくみんなでできるイベントを開いたりする。

【狛江高校まちづくりに関するアンケート】

○調査概要

(1) 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、総合的な探求の時間において狛江市について学習した狛江高校3年生が狛江市が更に取り組むべきだと思う項目等を把握し、検討の基礎資料とするため、アンケートを実施した。

(2) 調査設計

- ・調査対象…狛江高校3年生
- ・生徒数……314人
- ・調査期間…令和5年9月11日～28日

(3) 調査項目

- ・住んでいる場所
- ・住んでいるまちは住みよいと思うか。
- ・将来、狛江市がどのようなまちであれば住んでみたいと思うか。
- ・総合的な探求の時間で取り組んだ分野
- ・狛江市が更に取り組むべきだと思う項目
- ・自由記述

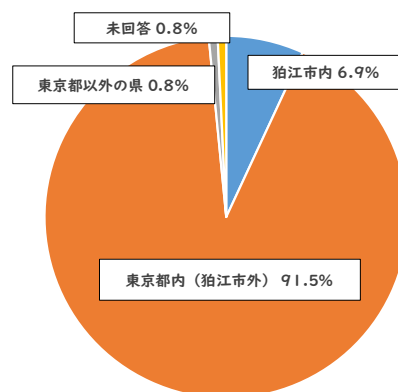
(4) 回答結果

260件（回答率82.8%）

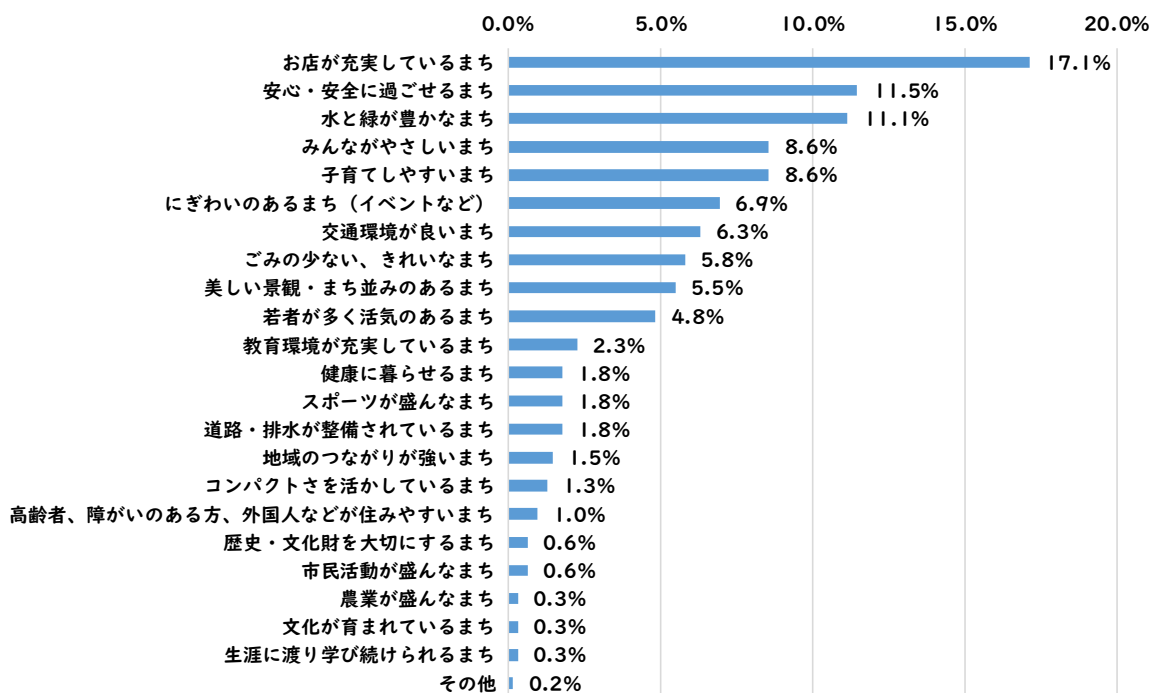
○調査結果

問 住んでいる場所を教えてください。

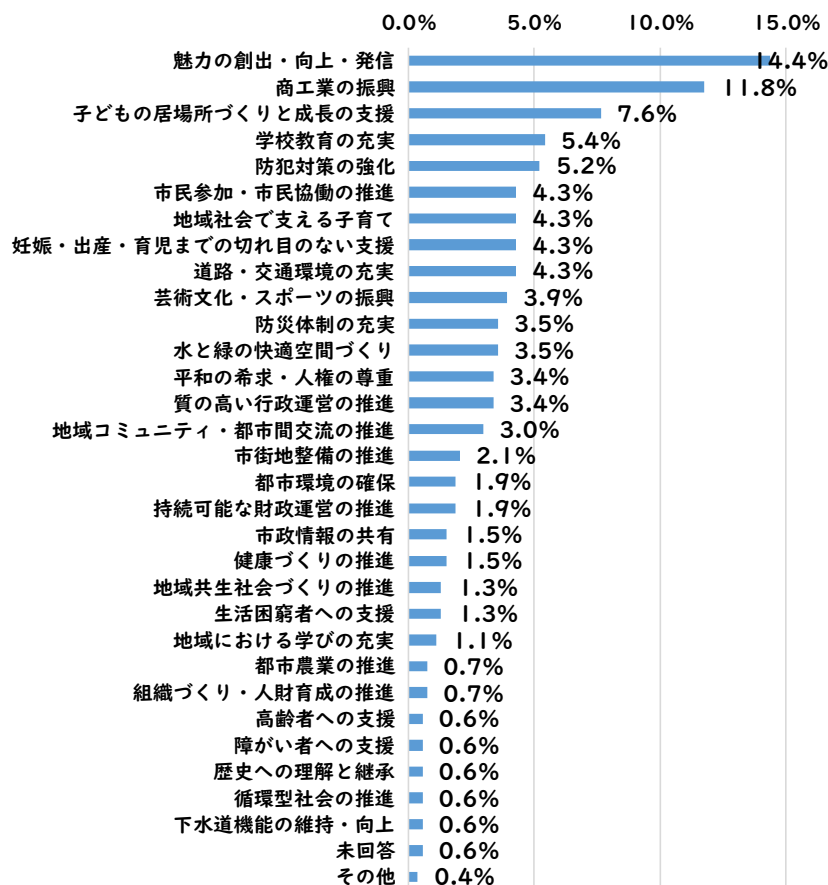
	回答数	構成比
狛江市内	18	6.9%
東京都内（狛江市外）	238	91.5%
東京都以外の県	2	0.8%
未回答	2	0.8%
合計	260	



問 将来、狛江市がどのようなまちであれば住んでみたいと思いますか。
(当てはまるものを3つまで選択してください。)



問 狛江市が更に取り組むべきだと思う項目を教えてください。



【狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ】

○ワークショップ概要

(1) 目的

市民が感じている狛江市の魅力・課題、住みたいまちの姿、市民・市（行政）ができることについて話し合い、狛江市後期基本計画策定に係る基礎資料とする。

(2) 開催日時・場所

令和5年12月16日（土） 狛江市防災センター

(3) グループ構成・人数

グループ	分野	人数
A	男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業	6人
B	防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり	4人
C	子育て・教育・青少年	3人
D	保健・福祉・健康づくり	5人
E	生涯学習・芸術文化・歴史	4人

計22人

(4) プログラム

内容	時間
説明	20分
自己紹介	5分
①狛江市の魅力・課題について	40分
休憩	10分
②住みたいまちの姿について	45分
休憩	10分
③市民・市ができること	40分

(1) 狛江市の魅力・課題について

狛江市の魅力と課題についてグループごとにブレインストーミングにて話し合ってもらいました。※重複するもの、専門用語等の一部文言は整理しています。

Dグループ（保健・福祉・健康づくり）

魅力	課題
<p>《安心安全》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪が少ない街・治安が良く安心 <p>《コンパクトな街》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなので連携しやすそう ・小さな街で人の顔が見える ・どこへでも徒歩か自転車で行ける。 <p>《平坦な道》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平坦なのでバリアフリー化しやすそう ・自転車でいろいろ行ける ・交通渋滞が少ない <p>《静かな街》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガチャガチャしてない、夜が静か <p>《東京である・アクセスの良さ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外局番 03・23 区外だがちょうどいい ・都心、神奈川に行きやすい ・新宿など都心も近い <p>《知り合いができやすい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅が多いので知り合いができやすい ・昔から住んでいる人が多い印象 <p>《子育てしやすしい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が多く子どもも飽きずに遊べる <p>《自然》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野川・多摩川の自然 ・緑が多く気持ちが良い。自然が多い ・畑・屋敷林など住宅街の中の緑 ・近くで運動しやすい <p>《歴史・文化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古墳などまちなかにある歴史 <p>《特別感》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚えてもらいやすい、めずらしい ・小さな街という特別感 <p>《小さな店・クラフトビール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい小さな飲食店、商店 ・飲み屋クラフトビールが多い 	<p>《インフラ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加・道が狭い・暗い <p>《子育て》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童 ・若者が安心して集まりやすい場所 ・双子家庭への支援が少ない ・子ども自身が体や心の相談しやすい窓口 <p>《健康づくりの場不足、公平性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニスを継続的にやりたいがテニスコートの抽選に全然当たらない ・市の南側に公園がない（遊具がない） ・20～50 代位の健康診断がしやすい場所 ・コロナ対応に比べ平時の特徴が見えない <p>《戦略・魅力不足》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かで尖ろうという気概がない ・強み（コンパクト）を生かす取組みなし ・都内で特徴を出そうという雰囲気がない ・合わせ技一本のような発想がない <p>《若い人を呼ぶ政策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家を買いたい、住み続けたいけど高い ・資産価値を上げる気がない <p>《ペット》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糞などの不始末が多い <p>《他の自治体との比較が弱い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調布や世田谷にある支援が狛江ではない <p>《福祉》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスと支え合いのできることのバランス・障がいのある方の地域生活 ・グループホーム増。人々の理解と受容 ・1人暮らしの練習が出来る施設 ・高齢者対策・介護予防と健康づくり ・地域・在宅で最期まで過ごすための資源 ・1人暮らし高齢者の孤立・8050 問題 ・親の将来についての知識がほしい。

(2) 住みたいまちの姿について

(1) の魅力と課題を抽出していただいた後に住みたいまちの姿とまちのキャッチフレーズをグループごとに話し合っていました。

Dグループ（保健・福祉・健康づくり）

住みたいまちの姿
<ul style="list-style-type: none">・フレイルが少ないまち・誰も取り残されることのないまち・何でも日本で2番を目指すまち（良い先進例をすぐに取り入れる）・若い人が魅力を感じるまち・資産価値の下がらないまち・限られた資源を最大限活用し平等に利用できるまち・近所の人同士無理なくゆるやかにつながれるまち・日本一町会・自治会が元気なまち
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none">・日本で2番目にウェルビーイングなまち

(3) 市民・市（行政）ができることについて

(2) 住み続けたいまちの姿に向けて「わたしたち（市民）と市（行政）ができること」について話し合っていました。

D グループ（保健・福祉・健康づくり）

市民	行政
<p>《誰でもすぐできること》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔であいさつ ・向こう三軒両隣を掃除する ・近所付き合い、近所同士のあいさつ ・近所の方と顔見知りになる <p>《地域への気づかい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供と高齢者に関心をもつ ・地域でのゆるやかな見守り合い ・生活マナーの向上（ゴミ、ペットの糞等） <p>《友達を増やす》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広い年代の人と交流するようにする ・いつもと違う人に会う ・環境の違う人との交流を積極的に図る ・いつもと違う場所に行く <p>《狛江のお店を応援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内でお金を使う ・地域のお店を応援する ・フードバンク <p>《イベントへの参加》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流する機会、市の主催イベント等に参加する ・家族でいろいろな事に参加する ・地域に関心を持ち、様々なことに参加する <p>《市民の声を届ける》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる中で感じた悩みや課題の声を届ける ・市の魅力や不満をしっかりと市に伝える <p>《元気な家族》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々人で健康に気をつかう ・家族との時間をたくさん持つ 	<p>《市のビジョン・魅力づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の未来戦略の明確化と共有 ・2番になれる課題を見つける ・狛江独自の魅力づくり、課題づくり <p>《地域の資源を生かす・開発する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい資源の開発 ・町会・自治会をアクティブにする ・地域のために活動する市民を多面的に応援する ・置き去りにしないために支援の手を増やす <p>《企業誘致》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業を誘致する（ベンチャー、スタートアップ） <p>《市民の声を拾い、向き合う》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民目線で仕事をする ・市民の小さな声も吸い上げる ・市民の声をしっかり拾い、向き合う ・個別相談窓口を増やす <p>《市民への情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信（広報、ポスター、学校等） ・情報発信の多様化と工夫 <p>《福祉・教育予算の充実》</p> <p>《良い先進例の情報収集と実践》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな事例調査と実践 ・他の地域での良い事例をすぐに取り入れて実行する ・先進的な取組をする自治体に学び狛江に生かす ・市外の人とも交流できるイベントの企画

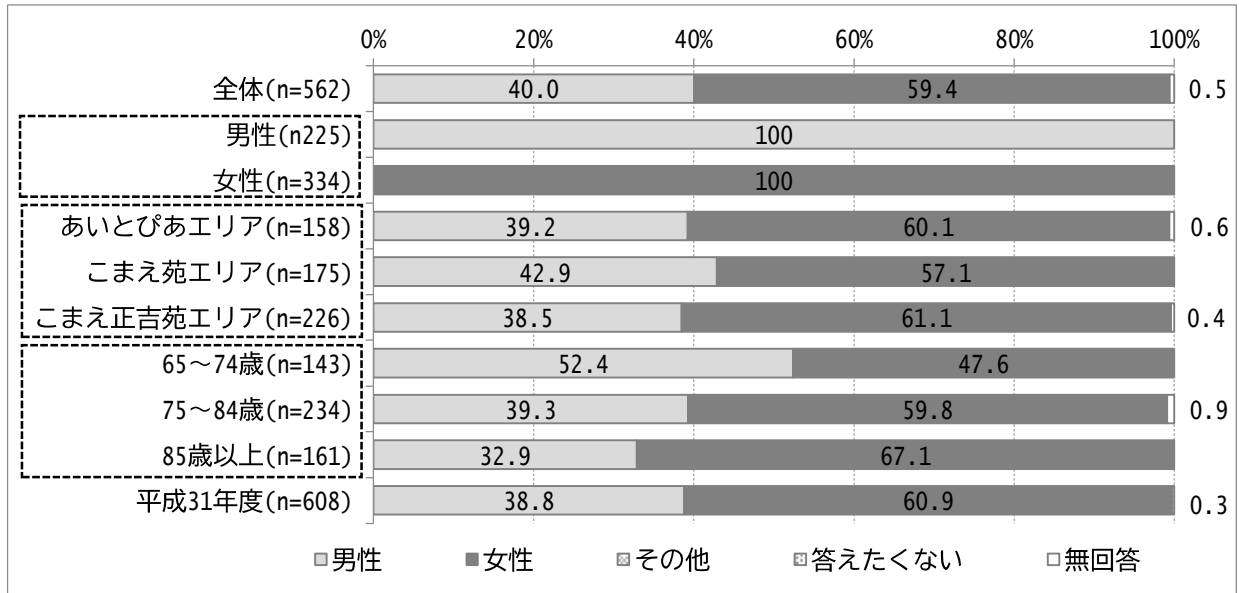
【狛江市地域福祉計画等の策定等に係る市民意識調査報告書（抜粋）】

第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

A 基本 あなた（宛名のご本人）の基本情報について

基本1 性別を教えてください。（○は1つ）

性別は、「女性」が59.7%で最も多く、次いで、「男性」が40.3%となっています。



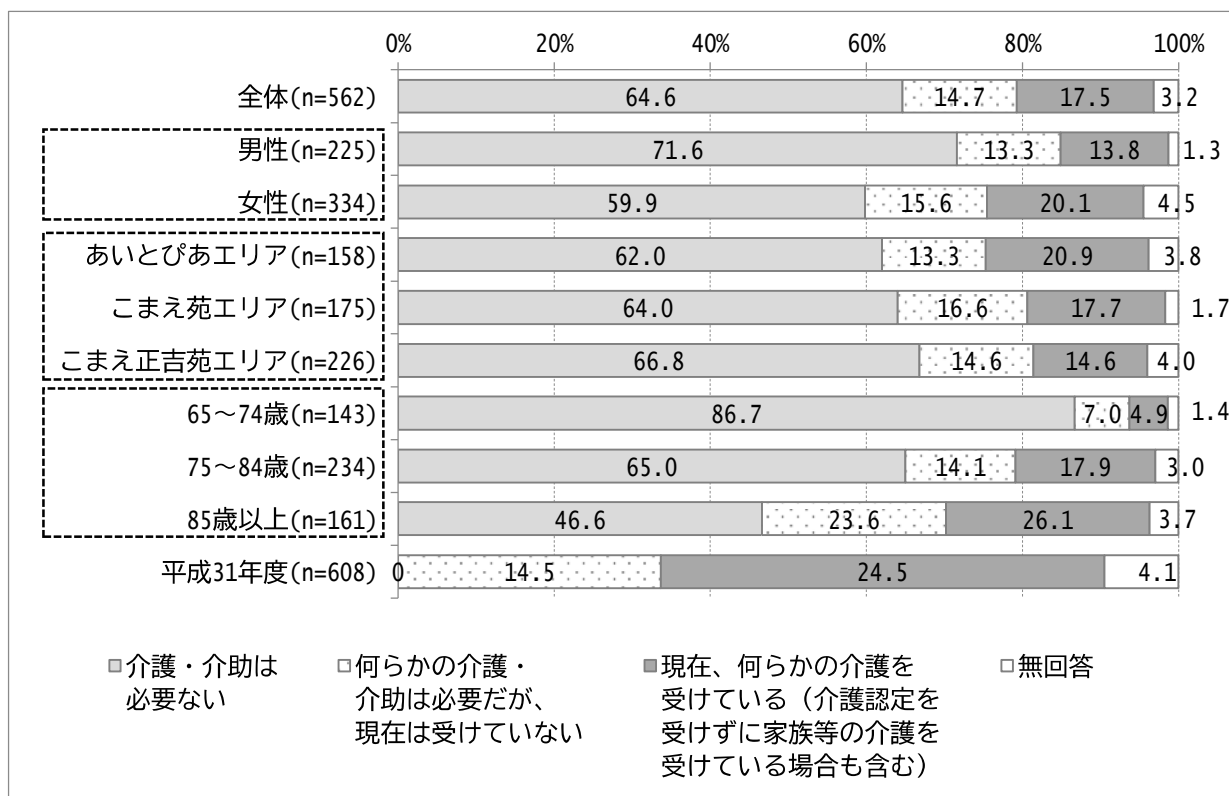
※「男性」及び「女性」のnの数は、本問で「男性」及び「女性」を選択された方の数です。なお、本問では、「無回答」の方がいる（「その他」、「答えたくない」の選択肢については、選択された方はいなかった。）ことから各性のnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

※あいとぴあエリアのnの数は、基本（3）で「中和泉」、「西和泉」、「元和泉」及び「東和泉」を選択された方の合計者数です。こまえ苑エリアのnの数は、「猪方」、「駒井町」、「岩戸南」及び「岩戸北」を選択された方の合計者数です。こまえ正吉苑エリアのnの数は、「和泉本町」、「東野川」及び「西野川」を選択された方の合計者数です。なお、基本（3）では、「無回答」の方がいるため、各エリアのnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

※「65～74歳代」、「75～84歳代」、「85歳以上」のnの数は、基本（2）で記入いただいた年齢に基づき集計した数です。なお、基本（2）では、年齢をご記入いただけなかった方もいるため、各年代のnの合計数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

問1-3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

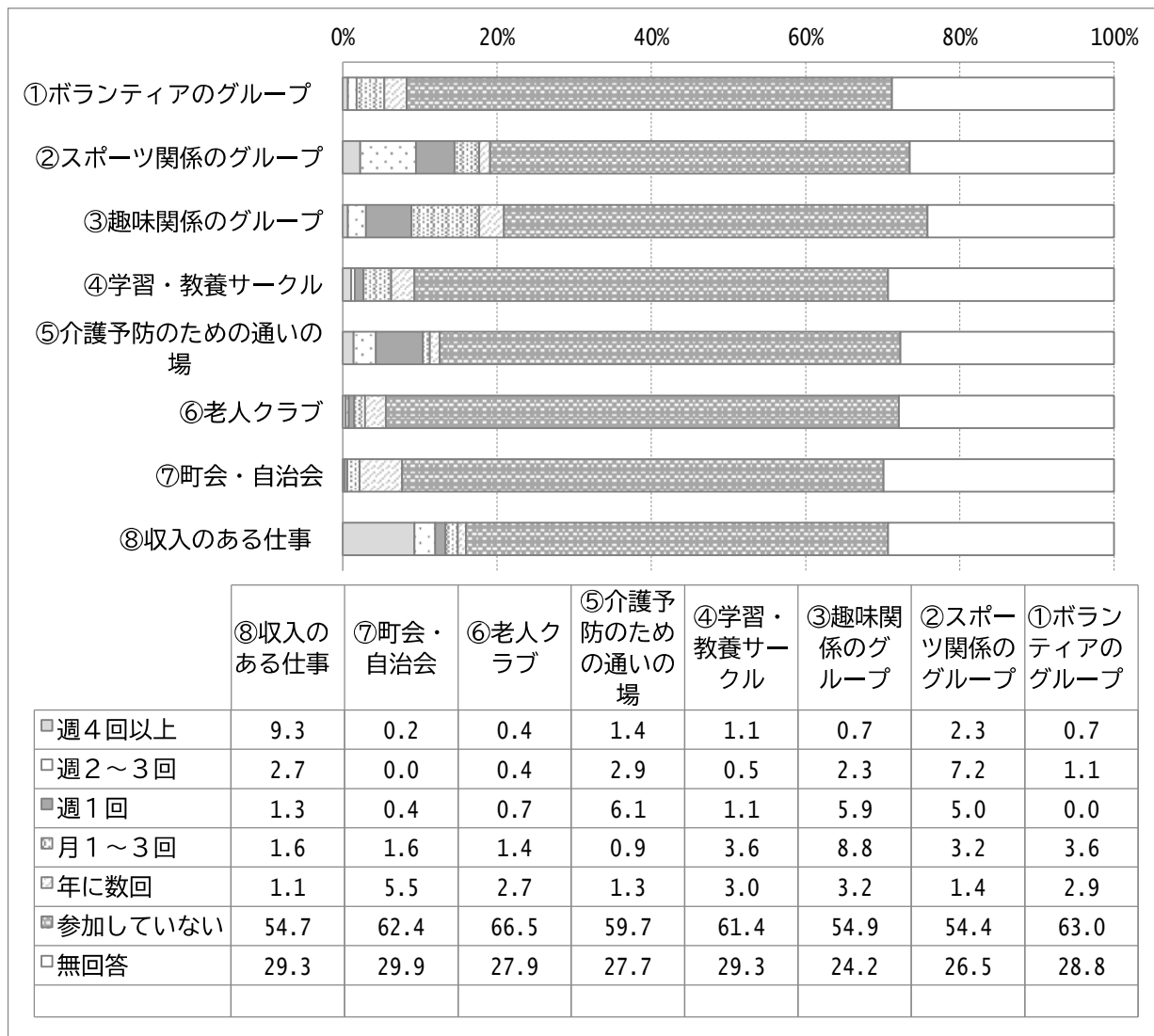
介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が64.6%で最も多く、次いで、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が17.5%となっています。



F 地域での活動について

問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。①から⑧までそれぞれに回答してください。

『参加している』（「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」及び「年に数回」の合計）が最も多いのは「趣味関係のグループ」で20.9%であり、次いで、「スポーツ関係のグループ」が19.1%となっています。

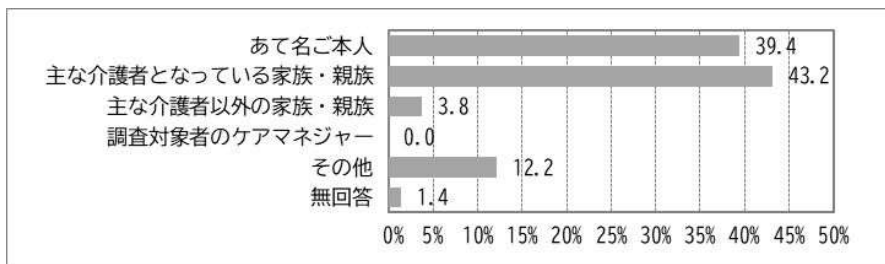


第5章 在宅介護実態調査

A 基本情報

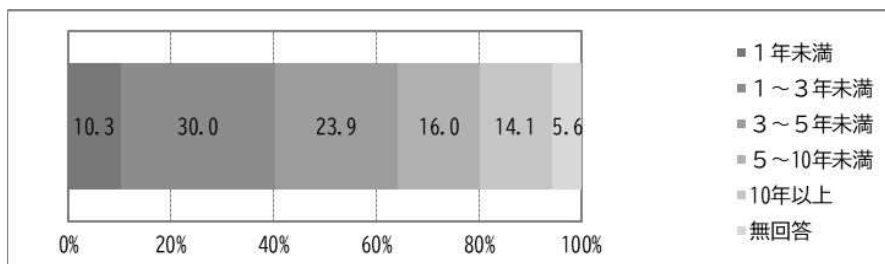
問A票-◎-1 このA票を回答するのは、どなたですか。(いくつでも○)

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が43.2%で最も多く、次いで、「あて名ご本人」が39.4%となっています。



問A票-◎-2 生活する上で何らかの介護や手助けが必要になってからの期間はどれくらいですか。(1つに○)

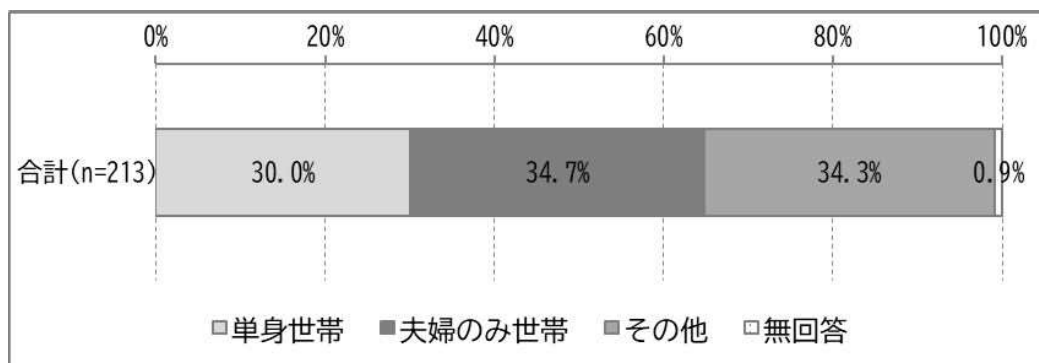
生活する上で何らかの介護や手助けが必要になってからの期間については、「1～3年未満」が30.0%で最も多く、次いで、「3～5年未満」が23.9%となっています。



※本章の表は、「在宅介護実態調査「自動集計分析ソフト」」を使用して作成したものであるため、用字・用語等について修正できないものがあります。以下本章において同じです。

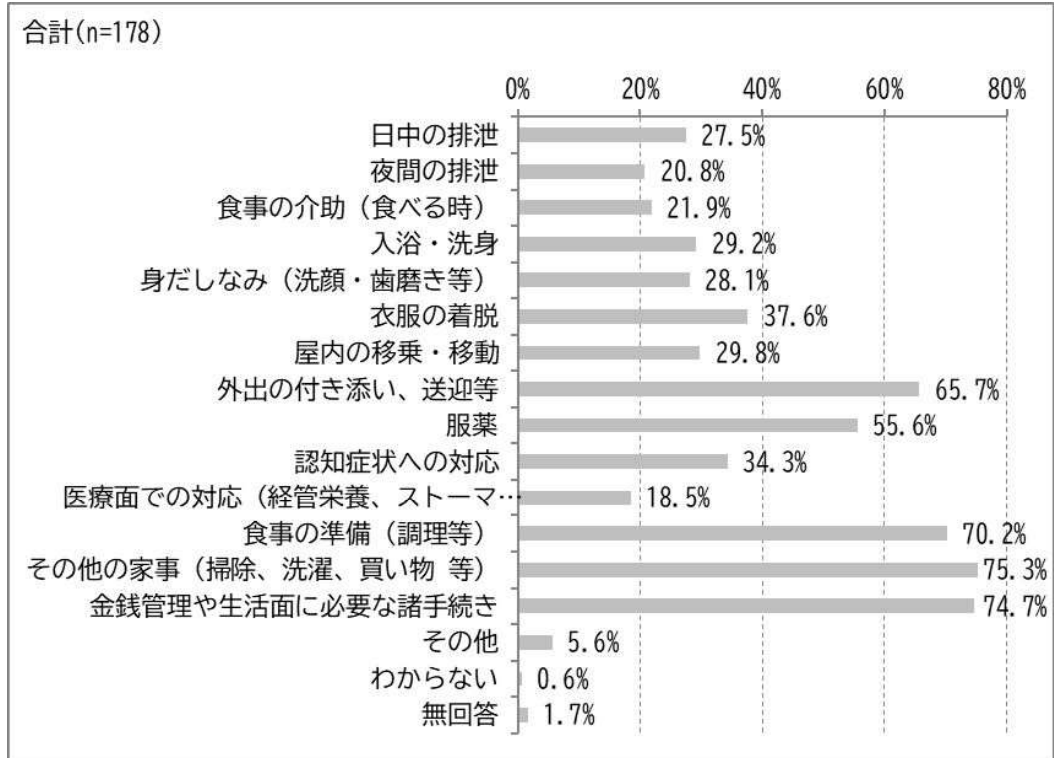
問A票-1 あなたの世帯類型について、ご回答ください。(1つに○)

世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が34.7%で最も多く、次いで、「その他」が34.3%となっています。



問A票-6 現在、主な介護者の方が行っている、あなたへの介護等は、次のうちどれですか。
(いくつでも○)

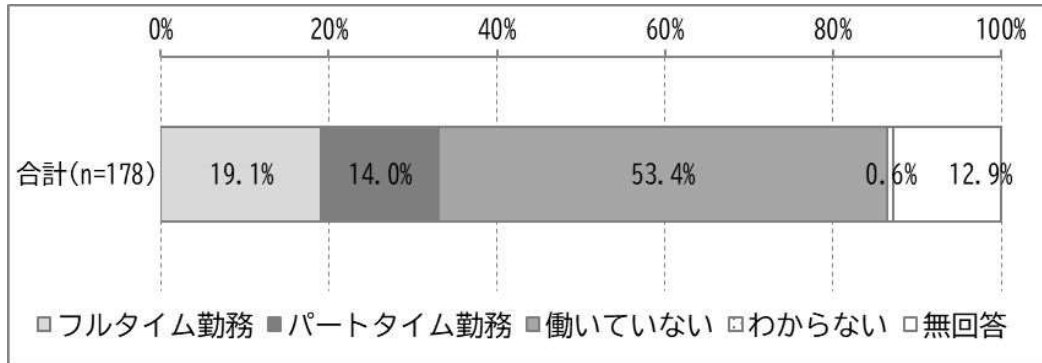
主介護者の介護等の内容については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が75.3%で最も多く、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が74.7%となっております。



F 主な介護者の在宅介護の実態について

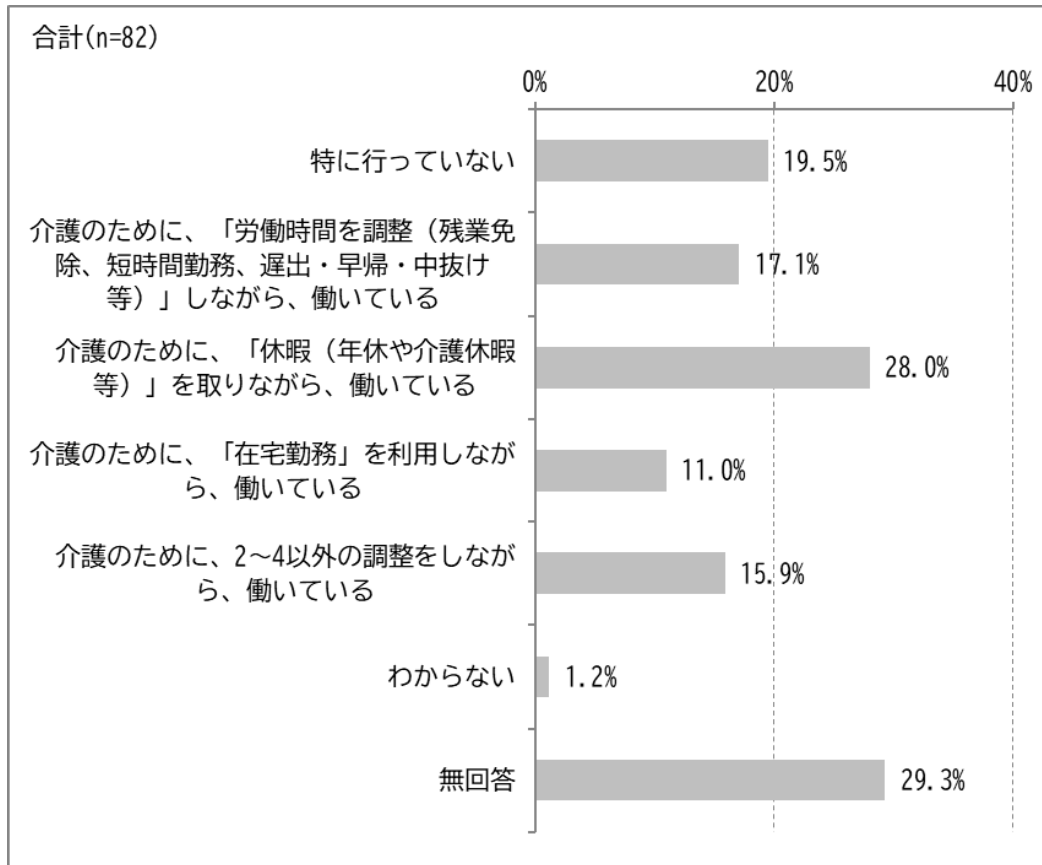
問B票-1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つに○)

主な介護者の方の現在の勤務形態については、「働いていない」が53.4%で最も多く、次いで、「フルタイム勤務」が19.1%となっております。



問B票-2 【問1で「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。】主な介護者の方は、介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)

主な介護者の方の介護をするに当たっての働き方の調整方法については、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が28.0%で最も多く、次いで、「特に行っていない」が19.5%となっております。



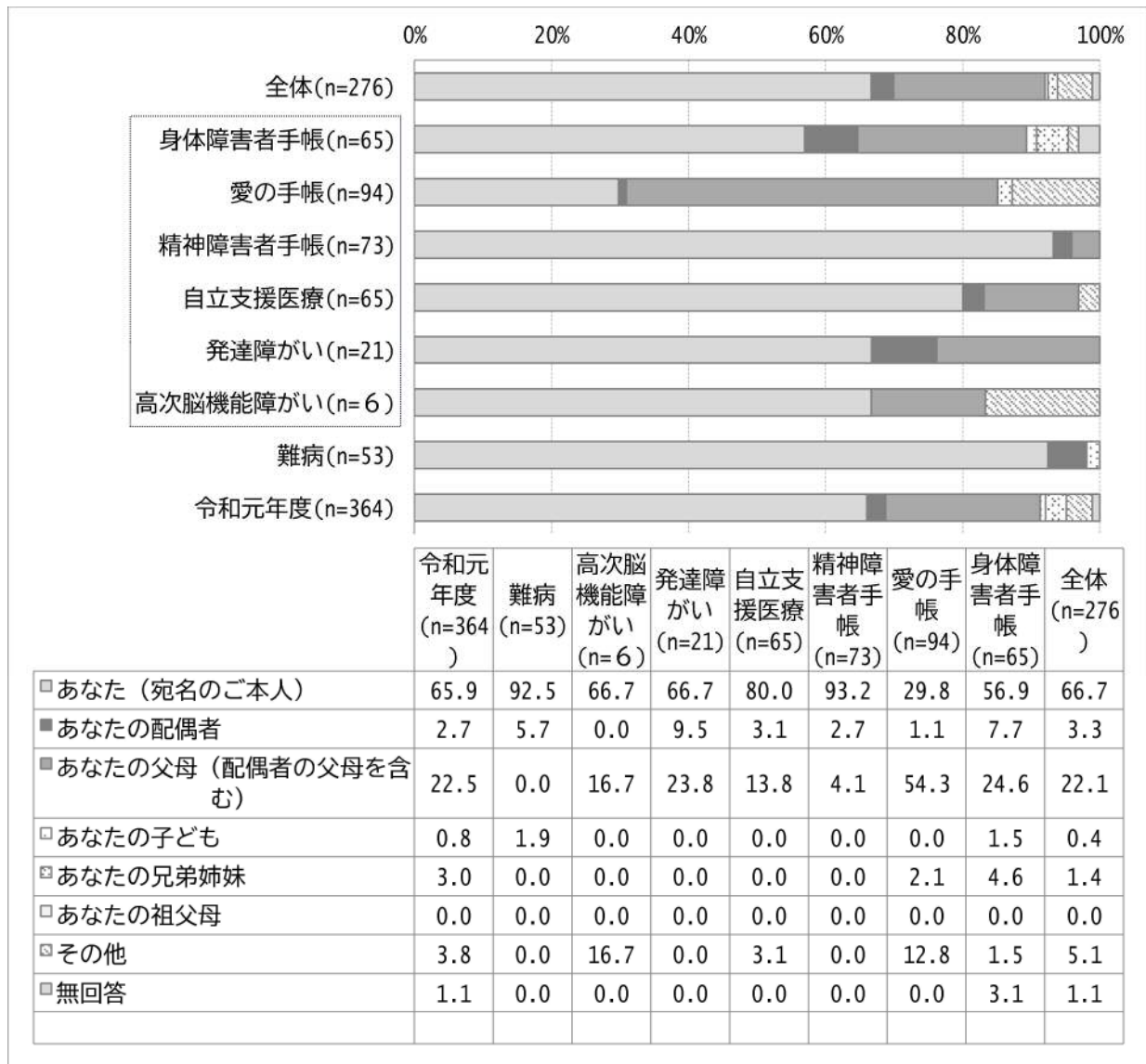
第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（○は1つ）

回答者は、「あなた（宛名のご本人）」が66.7%で最も多く、次いで、「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が22.1%となっています。

手帳の種類・診断名別でみると、愛の手帳を持っている方では「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が最も多くなっています。



※「身体障害者手帳」、「愛の手帳」、「精神障害者手帳」、「自立支援医療」、「発達障がい」、「高次脳機能障がい」及び「難病」のnの数は、問9で「お持ちの手帳又は受けている診断名等」についてそれぞれ「身体障害者手帳を持っている」、「愛の手帳を持っている」、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」、「自立支援医療を受給している」、「発達障がいの診断を受けている」、「高次脳機能障がいの診断を受けている」、「難病の診断を受けている」を選択された方の数です。なお、問9では、複数回答ができること、「その他」及び「無回答」の方がいることから各エリアのnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

第6章 障がい者等調査
A 本人、家族について（基本事項）

問7 あなたは今後、誰とどのようなお住まいで生活したいと思いますか。（○は1つ）

希望する同居者と住まいについては、「家族と一緒に一戸建て」が27.9%、次いで、「家族と一緒に集合住宅（マンション・アパート等）」が17.0%となっています。

手帳の種類・診断名別で見ると、最も多いのは愛の手帳を持っている方が「グループホーム」が37.2%、となっています。

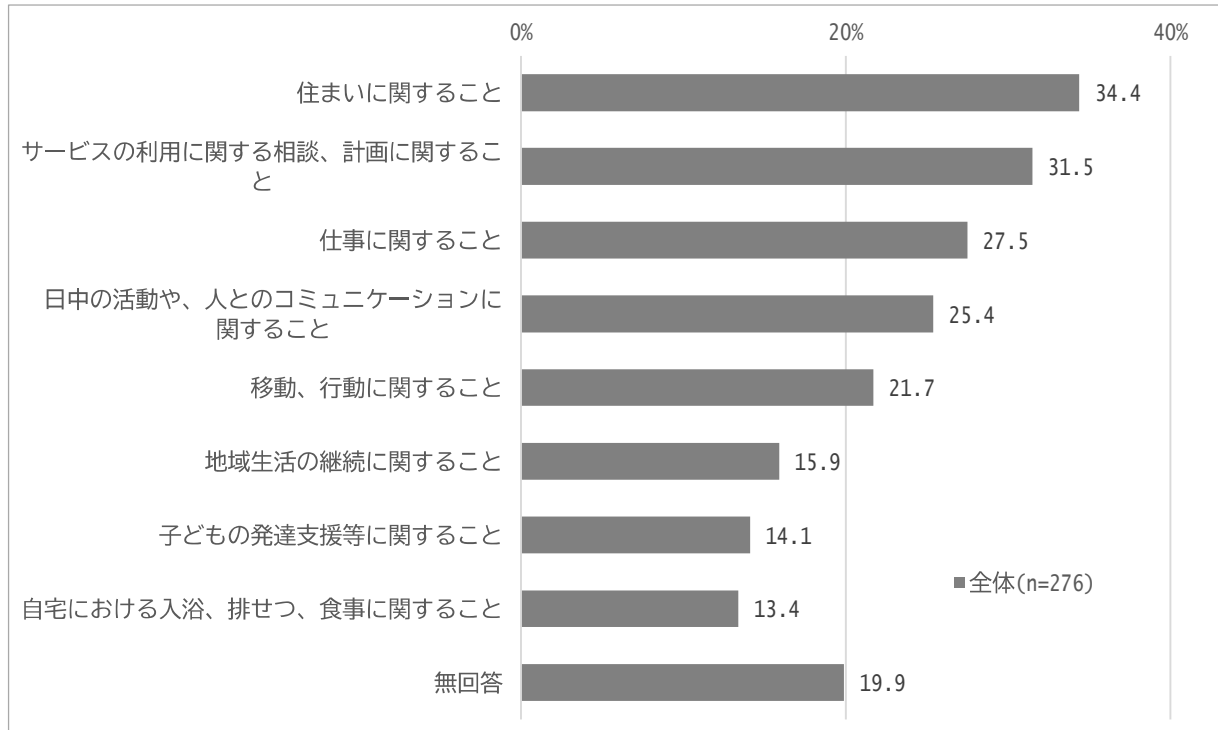
全体(n=276)	0% 20% 40% 60% 80% 100%											
	平成31年度(n=364)	回答者その他(n=28)	回答者父母(n=61)	回答者本人(n=184)	難病(n=53)	高次脳機能障がい(n=6)	発達障がい(n=21)	自立支援医療(n=65)	精神障害者手帳(n=73)	愛の手帳(n=94)	身体障害者手帳(n=65)	全体(n=276)
<input type="checkbox"/> 家族と一緒に一戸建て	26.4	25.0	29.5	28.3	39.6	33.3	28.6	26.2	19.2	21.3	35.4	27.9
<input checked="" type="checkbox"/> 家族と一緒に集合住宅(マンション・アパート等)	17.0	14.3	19.7	16.8	32.1	0.0	9.5	10.8	12.3	9.6	20.0	17.0
<input checked="" type="checkbox"/> 家族と一緒に公営住宅(市営・都営住宅等)	0.0	3.6	1.6	6.5	3.8	16.7	4.8	7.7	9.6	4.3	6.2	5.1
<input type="checkbox"/> 一人暮らしで一戸建て	2.7	0.0	1.6	2.7	0.0	0.0	0.0	3.1	2.7	2.1	0.0	2.2
<input type="checkbox"/> 一人暮らしで集合住宅(マンション・アパート等)	12.6	0.0	0.0	15.8	15.1	16.7	4.8	10.8	21.9	1.1	4.6	10.5
<input type="checkbox"/> 一人暮らしで公営住宅(市営・都営住宅等)	0.0	0.0	0.0	6.5	1.9	0.0	4.8	9.2	12.3	2.1	3.1	4.7
<input checked="" type="checkbox"/> グループホーム	12.6	14.3	34.4	8.2	1.9	16.7	28.6	13.8	4.1	37.2	12.3	14.9
<input type="checkbox"/> 入所施設	4.4	28.6	1.6	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	8.5	6.2	3.6
<input checked="" type="checkbox"/> その他	10.9	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
<input type="checkbox"/> 分からない	9.9	14.3	9.8	12.5	5.7	16.7	14.3	13.8	16.4	12.8	9.2	12.0
<input checked="" type="checkbox"/> 無回答	3.3	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	4.8	3.1	1.4	1.1	3.1	1.8

※平成31年度は、「家族と一緒に公営住宅(市営・都営住宅等)」と「一人暮らしで公営住宅(市営・都営住宅等)」をまとめて「公営住宅(市営・都営住宅など)」として調査しているため、今次調査の選択肢と合わせるために、平成31年度の当該選択肢の回答は「その他」に含めて集計している。

第6章 障がい者等調査
B 市の障がい福祉サービスについて

問 20 今後、市が取り組む障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだ
とお考えですか。(数字に○を付けてください。○は3つまで)

優先して充実すべき障がい福祉サービス等については、「住まいに関すること」が 34.4%で最
も多く、次いで、「サービスの利用に関する相談、計画に関すること」が 31.5%となっています。



(単位：人、%)

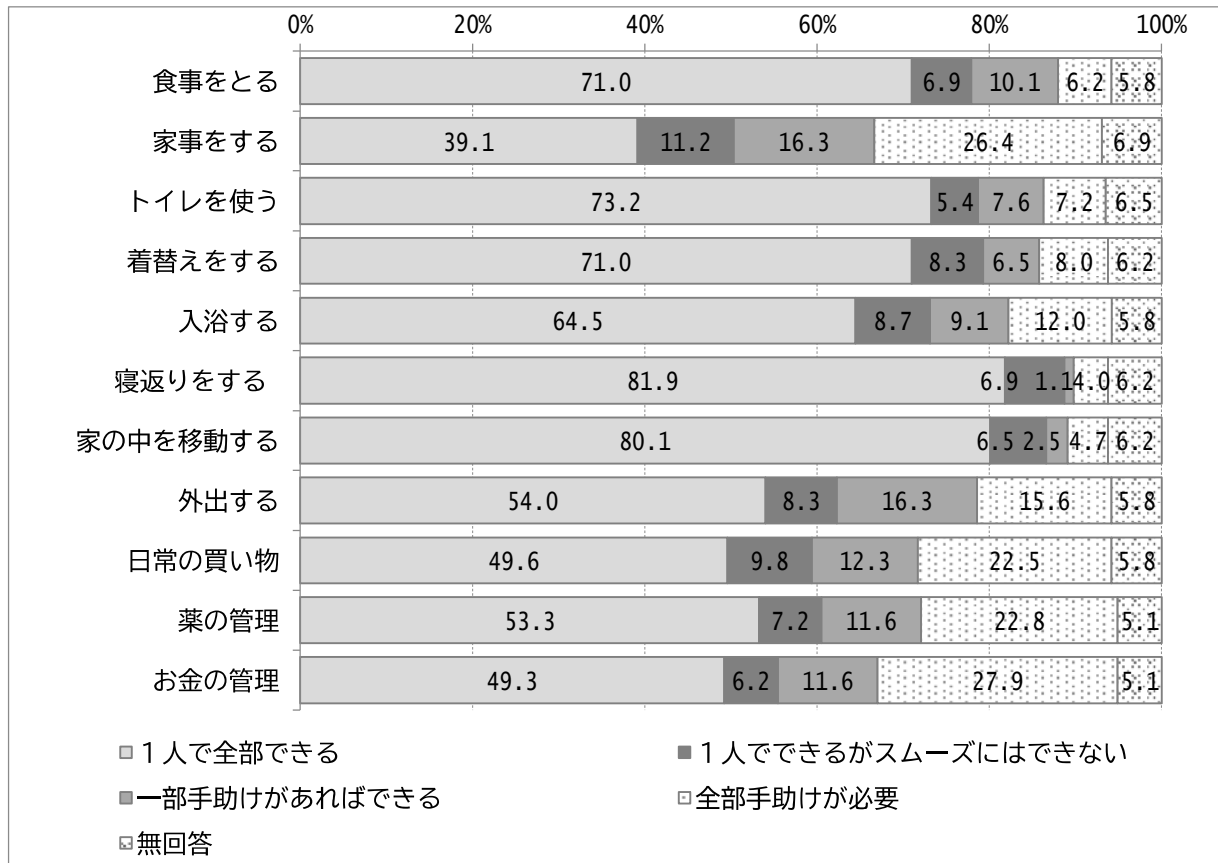
区分	人数	無回答	自宅における入浴、排せつ、食事に関すること	子どもの発達支援等に関すること	地域生活の継続に関すること	移動、行動に関すること	日中の活動や、人とのコミュニケーションに関すること	仕事に関すること	サービスの利用に関する相談、計画に関すること	住まいに関すること
全体	276	19.9	13.4	14.1	15.9	21.7	25.4	27.5	31.5	34.4
身体障害者手帳	65	26.2	23.1	7.7	12.3	29.2	21.5	9.2	33.8	32.3
愛の手帳	94	17.0	5.3	9.6	25.5	34.0	33.0	22.3	29.8	58.5
精神障害者手帳	73	20.5	13.7	13.7	5.5	15.1	31.5	43.8	31.5	16.4
自立支援医療	65	15.4	16.9	20.0	16.9	23.1	20.0	33.8	44.6	27.7
発達障がい	21	14.3	9.5	23.8	9.5	28.6	23.8	28.6	42.9	33.3
高次脳機能障がい	6	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0
難病	53	18.9	20.8	20.8	22.6	15.1	15.1	20.8	30.2	34.0
ひきこもり該当	76	21.1	15.8	11.8	18.4	22.4	22.4	18.4	32.9	31.6
ひきこもり非該当	200	19.5	12.5	15.0	15.0	21.5	26.5	31.0	31.0	35.5
差別を感じる該当	98	16.3	12.2	13.3	15.3	31.6	32.7	30.6	38.8	43.9
差別を感じる被該当	178	21.9	14.0	14.6	16.3	16.3	21.3	25.8	27.5	29.2

C 日常生活と困りごと

問 24 日常生活における(1)～(11)の項目についてそれぞれお答えください。(○は1つ)

「1人で全部できる」の割合が最も多いのは「寝返りをする」(81.9%)であり、次いで、「家の中を移動する」(80.1%)、「トイレを使う」(73.2%)となっています。

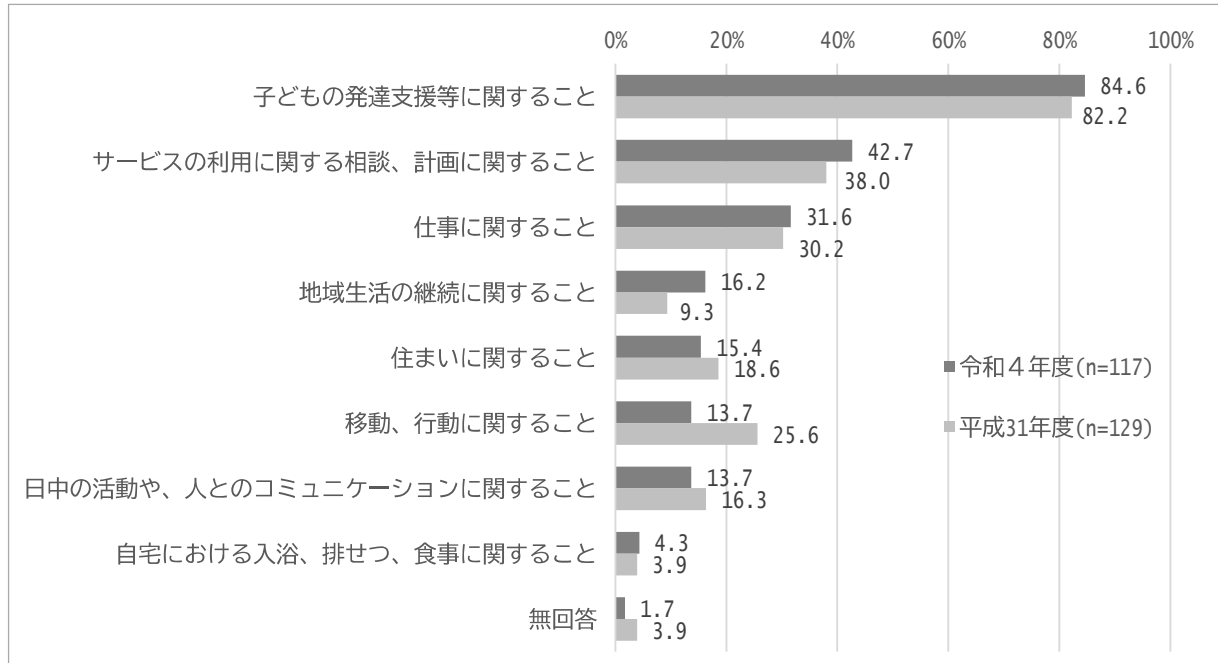
一方、「全部手助けが必要」の割合が最も多いのは、「お金の管理」(27.9%)であり、次いで、「家事をする」(26.4%)となっています。



第7章 障がい児等調査
B 市の障がい福祉サービスについて

問 21 今後、市が取り組む障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、市が取り組む障がい福祉サービス等で優先して充実すべきことは、「子どもの発達支援等に関すること」が 84.6%と最も多く、次いで、「サービスの利用に関する相談、計画に関すること」が 42.7%となっています。



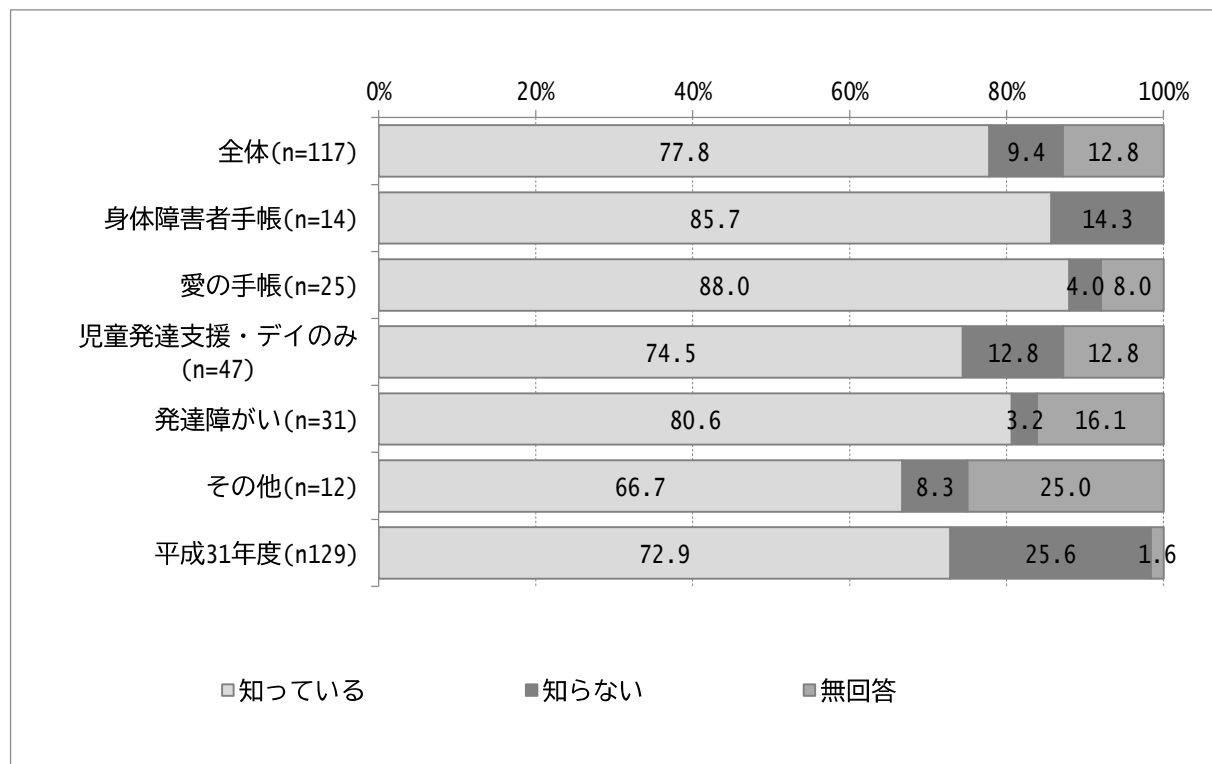
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	自宅における入浴、排せつ、食事に関すること	日中の活動や、人とのコミュニケーションに関すること	移動、行動に関すること	住まいに関すること	地域生活の継続に関すること	仕事に関すること	サービスの利用に関する相談、計画に関すること	子どもの発達支援等に関すること
全体	117	1.7	4.3	13.7	13.7	15.4	16.2	31.6	42.7	84.6
身体障害者手帳	14	0.0	14.3	28.6	28.6	35.7	7.1	35.7	35.7	71.4
愛の手帳	25	0.0	4.0	28.0	32.0	28.0	24.0	60.0	24.0	68.0
児童発達支援・デイのみ	47	0.0	4.3	6.4	4.3	8.5	14.9	17.0	46.8	93.6
発達障がい	31	0.0	3.2	19.4	12.9	12.9	12.9	38.7	48.4	93.5
その他	12	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	16.7	16.7	33.3	75.0
平成 31 年度	129	3.9	3.9	16.3	25.6	18.6	9.3	30.2	38.0	82.2

C 日常生活の困りごと

問 25 あなたは、困ったときに相談できる場所をご存じですか。(〇は1つ)

困ったときに相談できる場所の認知度は、「知っている」が77.8%、「知らない」が9.4%となっています。



F 市の障がい福祉施策について

問 44 あなたは、市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思うかどうかは、「分からない」が52.1%で最も多く、次いで「そう思う」が26.5%となっています。

